

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
国東市	(安岐町) 小俣地区 (小俣)	平成29年 3月	令和3年3月

1 対象地区の現状

地区内の耕地面積	15.3 ha
アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	15.3 ha
地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計	6.4 ha
うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	- ha
うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	4.6 ha
地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	4.1 ha
(備考)	

2 対象地区の課題

地域の担い手となる若い農業者がおらず、後継者もないため規模拡大できる農家が少ない。今後、農業者の高齢化により管理できなくなる農地が増え、耕作放棄地の増加が見込まれる。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

小俣地区の農地利用は、今後、新規就農者及び企業等の受入れを促進し対応するが、それまでの間、中心経営体や地域内外の農業者等で管理を行っていく。

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針(任意記載事項)

新たな担い手の確保や新規就農者及び企業等の受入を促進

- ・地域内外からの担い手や新規就農者及び企業の受入体制の整備を行う。

農地中間管理機構の活用方針

- ・認定農業者等の担い手が農地を集積する場合は、農地中間管理機構を活用する。